



真剣な表情で指導を受ける生徒たち

琴の弾き方初めて学び 「さくらさくら」演奏

葛巻中学校（佐美庸校長・生徒89人）は、岩手大学三曲部の学生11人を講師に招いて、琴の弾き方を学ぶ邦楽教室を行い、琴の音色の美しさを味わいました。

生徒たちは、弾くための爪の付け方や姿勢、弦の押さえ方など手ほどきを受け「さくらさくら」を演奏。多くの生徒が初めて琴に触れ、真剣な表情で指導を受けました。

石角南空さん（1年）は「今日は上手に弾けなかったけど、練習をして完璧な演奏をしたい」と話しました。同校では日本の伝統音楽に触れるため、一昨年は尺八、昨年は三味線の演奏を全校で取り組んでいます。



満天の星空（齊藤政宏さん撮影）
望遠鏡をのぞく参加者ら④

初めて夏の星空観察会 袖山高原で満天の星空

葛巻町観光協会（遠藤裕樹会長）は8月27日、袖山高原で初めて「夏の星空観察会」を開催、町内外から集まった約40人は、満天の星空を楽しみました。

小岩井農場まきば園の天文館の齊藤政宏館長が懐中電灯で方向を示し、天の川や夏の大三角を星座にまつわるギリシャ神話などを交えながら解説。なかなか見ることができない南の低い空に、さそり座も見ることができました。

同協会理事の藤岡徹さんは「直前に霧が晴れ本当にラッキーでした。町内で星空が近くに見える場所が5、6ヵ所あるので、観光スポットにしたいですね」と語りました。

江刈小のおはなし会で エプロン人形劇楽しむ

江刈小学校（湯原尚子校長・児童32人）は9月6日、盛岡市のうすゆきそう文庫の澤口杜志さんとぐるーぷ・ねこの手の本田千比呂さんらを招き「おはなし会」を行いました。

大人気の「はなかつぱ」や「びっくりまつぼっくり」の絵本の読み聞かせや、ストーリーテリング（本を使わず語りのみ）で「お月さまの話」、エプロンシアター（エプロン上の人形劇）で「ジャックと豆の木」などを披露し、参加した児童や保護者らはお話しの世界に引き込まれました。

4年生の大川原陽向さんは「エプロンのポケットから人形が出てくるのがおもしろかった」と話しました。



エプロンシアターに釘付けの参加者ら。ジャックと豆の木を披露した本田千比呂さん⑤

おやこクッキング行い だんごづくりを楽しむ

吉ヶ沢児童館（藤岡範夫館長、児童7人）は中秋の名月、十五夜にあたる9月12日、「おやこクッキング」を行い、だんご作りをしました。

子どもたちと保護者らは、ススキと一緒に供えする月見だんごや、郷土料理のへっちょこだんご作り挑戦。粘土遊びのように楽しみながらこねて、星の形や渦巻きの形をしたおもしろいだんごも、たくさん出来上がりました。

この日は、だんごのほか保護者らが作った豚汁や卵焼きなどを一緒においしくいただき、だんご作りを通して、親子の絆を深める一日となりました。



親子でだんごをたくさん作りました



カードをプレゼントされにっこり

子どもと高齢者一緒に 敬老の日を祝う会開く

冬部児童館（藤岡範夫館長、児童6人）は9月8日、敬老の日を祝う会を開き、冬部地区の高齢者の方々を招いて交流を深めました。

「どんぐりころころ」や「まつぼっくり」など子どもたちは元気な歌声を響かせると、おばあちゃんたちも盆踊りのナニヤドヤラを踊ったり、大黒舞を披露したりしました。

子どもたちは参加した高齢者の皆さんに、「ありがとう」と感謝の気持ちを込めた手作りのカードをプレゼントしました。その後、豚汁や炊き込みごはんなど昼食を一緒に食べ、楽しく交流をしました。



沖縄の食材に興味津々の女性たち。
シーサーカルテットの皆さん
(左から藤岡禮子さん、佐藤静枝さん、
鈴木タケさん、村木千代子さん)

シーサーカルテットが 沖縄の長寿料理を提供

女性グループ「シーサーカルテット」は9月5日、森のこだま館の地産地消レストランで沖縄で学んだ長寿料理を提供しました。メニューは、スヌイ(もずく)のおすいものやゴーヤーチャンプルー、パイナップル入り蒸しケーキなど、沖縄の食材を生かした11品。橋本レキさん(田代)は、「なんにもおいしかったけど、パイナップルの入った蒸しケーキが一番おいしかった」と笑顔で話しました。

同グループは、平成12年度町民大学で沖縄を訪れ、地元の方々から長寿料理を学びました。沖縄の方との食材交流を行い毎月1回、4人で料理の勉強を続けています。